

令和7年度探究学習発表会～SDG s チャレンジフォーラム～

(概要)

令和8年1月30日(金)、1年間の探究学習の成果を発表する「探究学習発表会(SDG s チャレンジフォーラム)」を実施しました。午前中ステージ上では、高校2年次生の語学(中国語)探究、マネジメント探究、DX 探究、ビジネス探究参加者によるプレゼンテーション、午後は附属中学校2年生全員、高校1年次生全員によるポスターセッションを実施しました。

1. 目的 価値観が多様化する激動の時代を生き抜くための高い知的探究心と変化への強さ（レジリエンスの高さ）を兼ね備えたグローバルリーダーの育成
2. 日時 令和8年1月30日（金）2～6時間目
 - （午前の部）高校2年次生 語学(中国語)探究、マネジメント探究、DX 探究、ビジネス探究参加者によるプレゼンテーション
 - （午後の部）附属中学校2年生・高校1年次生によるポスターセッション
3. 場所 本校体育館
4. 対象 高校2年次 各探究学習参加者(71名) 10班
高校1年次 (全240名) 60班
附属中学校2年生 (80名) 20班
5. 助言者 ジャートム(株)光成 章様、(株)BatonLink 様、各伴走企業様(E-novation、常陽銀行、AIST Solution、三菱電機、国立公文書館、日本色材工業研究所、茨城新聞社、アルジェントテクノロジー、メディカル・データ・ビジョン)
6. 内容

「令和7年度 探究学習発表会(SDG s チャレンジフォーラム)」を本校体育館にて開催しました。午前中、高校2年次生各探究学習参加者によるプレゼンテーション、午後からは、高校1年次生、附属中2年生のポスターセッションが行われました。



プレゼンの様子



講評者からの助言



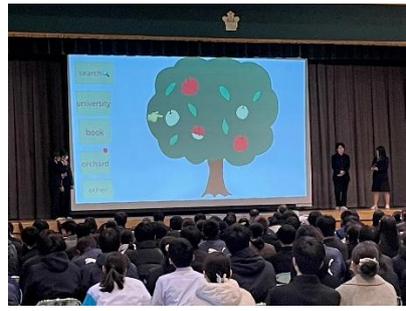
質疑応答の様子

(1)午前の部では、先ず、中国語探究、マネジメント探究、DX 探究の参加者が1グループずつ、1年間のそれぞれの探究学習の成果をスライドにまとめてプレゼンテーションを行いました。続いて、ビジネス探究参加者7グループによる、各グループで考えたビジネスアイデアを英語でプレゼンテーションしました。ビジネス探究では、伴走企業の方々から有意義な講評をいただきました。

質疑応答も活発に行われ、高校1年次生ばかりでなく、中学生が積極的に質問を行い、その質問に誠実に答えようとする高校生の姿から、お互いがともに成長する良い機会であると感じました。



DX 探究は全員で



スライドにも工夫が見られます



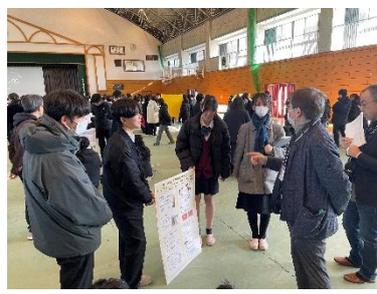
力のこもったプレゼンの様子

(2) 高校1年生・附属中2年生によるポスターセッション

午後の部では、高校1年生・附属中2年生によるポスターセッションが行われました。1年間各クラス4人1組（高校60班、附属中10班）で、伴走企業からのミッションとSDGsの17の目標をいかに実現するかの取り組みを行ってきました。学校での調べ学習、インターネットを利用したアンケート調査、街頭インタビュー等を行い、独自の視点に基づいた探究成果を発表しました。



ポスターセッションの様子



伴走企業様からのアドバイス



校長先生からの総評

7. 生徒の感想（一部抜粋）

【2年次】

- ・人前での発表になると、暗記した原稿も抜けてしまって完璧な発表にならなくて残念に感じた上、詰めの甘さを実感した。また、様々なテーマの発表がある中で、クオリティの高いものに触れることができた。
- ・発表を練習していたが、いざ多くの人前でステージに立つと台詞が出てこなかった。慣れていない英語であったが、相手に伝わりやすいように、文や話し方を工夫してスピーチをすることができた。
- ・人前で相手に聞き取りやすく、かつ興味を引くことのできるプレゼンをすることの難しさを改めて感じた。緊張下では練習とは違い声が詰まってしまったり、抑揚をうまくつけることができなかったので練習をもっとしたい。
- ・英語のプレゼンは日本語と違い、要点をメモしておけばその場で話せるものではないので、なるべく暗記しようと努力したが、やはり本番になるとすべて忘れてしまった。どのようにして聞いている人を惹きつけられるか、プレゼンや話し方などを工夫した。もっとより良い方法をこれからもかंगाえていきたい。
- ・ビジネス探究では、起業することを目的としたもので、今までの学習で他の企業との違い、強み、利益の得方等、社会の課題解決対策以外の観点からも重要なポイントを押さえて考えることができた。実際に起業をするのか、企業が成功するのかは確実ではないが、この経験を基に挑戦してみたいと思えた。
- ・中国語探究を通して、言語の素晴らしさや面白さに気づくことができた。また、新しい言語を身につけることで他国の環境や人、文化にも寛容になれるなど感じた。争いが絶えない今、相手の言語を知ることが求められると考えた。

【1年次】

- ・自分なりに立てた理論が他の人の新しい視点からの質問によって見方が変わったり、他の人の発表を見て同じマスコミでも違う理論を立てたりしていたことが興味深かった。また、質問は相手の発表をしっかりと聞いていないとできないが、みんな質問を沢山していたのが良かったと思った。

- ・オーディエンスから聞かれると予想される質問に対する答えを事前に決めていたおかげで、詰まることなく答えることができた。
- ・昨日まで発表が不安でしか無かったが、直前に2つほど文言を付け加えたことで全員に納得してもらえるスピーチとなった。直前の改善がスピーチの善し悪しを分けることもあると知った。
- ・こうやって、自分なりに考えて身近な課題を解決するという行為は、今回の探究学習に限らず日常に役立つことだと思うので、きちんと活かせるようにしたいなと思いました。
- ・今までの頑張りを発揮できてよかった。調べ学習を進めると、そのときの課題や疑問は解決されるけど、新しい課題や疑問もでてきて、またそれを調べて解決して、というサイクルを繰り返すことでどんどん知識や理解が深まっていくと分かった。想定していなかった質問にも答えられて、テーマへの理解が深まっていると感じて嬉しかった。
- ・自分のアクションプランに対して多くの質問や意見を知ることができて、小人数では気づけなかった問題点や解釈を知ることができ、より良いものを作るにはトライアンドエラーや来るものの拒まず多くの意見を反映させていくことが必要だと考えました。
- ・今日の発表では企業から提示された「誰もが医療に参加できる社会」という課題についてオンライン診療所を公共機関に設置すると言うことで筋道を立てて説明することができた。ここまでより良くできたのは企業の協力や周りの人の助言があったからだと思ったので、これからも協力を大切にしようと思った。
- ・同じミッションを与えられても観点が違って発表を聞くのが面白かったです。行き詰まったことも多かったけど、グループで話したり調べたり、アドバイスを聞いたりして無事に発表が終わって良かったです。
- ・探究学習を通して、問題に向けて解決方法を考え、新たな問題に応じてさらに考えていく探究サイクルを実践することができたと思う。理論的に考える力や、多方面から物事を見る力がついた気がする。
- ・より多くの人々の心に刺さるような提案を考えるとときに矛盾点を自分達だけで考えるのは難しく、他者に聞いてもらうのが一番だとわかった。論理的思考力がついて良かったと思う。
- ・もう少し自由度が欲しいなどは思ったが、伴走企業さんと一緒に探究活動をするという経験は面白かった。中学の時に比べても限られた時間の中で仲間と協力しながら最後には上手くまとめることができてよかった。
- ・1つのことをこんなに長い期間調べて、考えを深めていくことは初めてだったので、難しいこともありました。同じ班の人と助け合いながら達成することができ、課題を解決する楽しさを感じることができました。
- ・自分の伝えたいことを明確に相手に伝えるために、どのような言葉を使えば良いのか、どの順序で話せば良いのかなど、プレゼンテーションについてのスキルが上がったのを感じて嬉しかった。
- ・今までこのような本格的な探究活動をしたことがなかったので、最初は難しく感じていたが、だんだんと同じグループの子たちと協力しながら、調べ学習をしたり、フィールドワークを行ったりするなかで、違う班の人や伴奏企業の方にアドバイスをいただいたこともあり、だんだんと医療の分野を知ることができとても楽しかったです。
- ・中学の時よりもひたすら準備できる期間が短く、途中発表が多く、たくさん焦ったが、最終的にはなんとかまとまって終わることができてよかった。
- ・時間が足りない。テーマが掘り下げにくい、難しい。
- ・メンバー内での情報共有や分担がうまくできなかった。
- ・